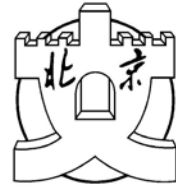


かささぎ



北京日本人学校
学校通信 11月号
平成27年11月30日
校長 奥田 修也

四面楚歌（しめんそか）でもあきらめず

北京日本人学校教頭 高橋 勝

その日の朝、突然に工事が始まりました。昨年の11月18日のことです。いつものように東門側から学校に向かってっていると、正門に続く曲がり角にたくさんの黄色いヘルメットが見えました。緑地帯から歩道にかけて土が掘り起こされ、よく見ると大きな穴が空いています。現地スタッフの事務長が出勤するのを待ち、さっそく状況を確認にいきました。土木作業をしている方の話から、熱水管取り付けの工事がこの先1年間続くこと、歩道部分も工事箇所に含まれることなどがわかりました。

この状況では子どもたちが安全に歩道を通ることができません。急遽父母会の通学安全委員さんにも相談し、通学バス利用のご家庭に乗降場所の変更をお願いしました。翌週から車両利用者は全員正門前で降車して登校し、帰りは東門から出て乗車するという方法をとりました。突然の変更にとまどう方もいらっしゃいましたが、子どもたちの安全を第一に考えてのことでしたので誰もが協力的でした。

12月に入り、新しい登下校のしかたも定着してきましたが、しだいに大型バスのUターン箇所やお迎えの車の駐車場所が確保しづらくなってきました。一方、工事現場に塀ができ、歩道通行の安全に心配がなくなってきましたので、15日には乗降場所を元に戻しました。

こうして年末はいくらかほっとして過ごしましたが、年が明けると高速道路側に隣接しているインター校跡地で建築工事が始まるという情報が耳に入ってきました。月末には工事関係者が来校し、くわしい説明がありました。3年間ほどかけて国際交流文化センター（外交人員服務局）を建てるのだそうです。そこで、送迎場所の安全確保だけでなく騒音や振動、粉塵問題に対しても、向かいの学校と連携して交渉を行っていくことにしました。被害を最小限にとどめ、あわよくばこちらの要望も聞き入れてもらおうと事前に打ち合わせ、話し合いに臨みました。

交渉の末、登下校や行事の際の配慮だけでなく、正門側道路の入口に電動門扉を設置し、車両の進入制限を行えるようになりました。おかげで大型バスを除く公寓送迎車が正門前に待機することができ、下校時に交通量の多い道路を横断していた子どもたちの人数を少なくすることができました。

このほかにも同時期に、丁字路付近の事業所の補修工事で、工事車両等の駐車がいっきに増えて送迎車の待機場所がなくなったり、横断歩道脇の掘削工事で子どもたちの横断が妨げられたりするなどの問題が断続的に起こりました。そしてそのたびに通学安全委員さんと現場確認をしながら、対応を検討しました。

「正門を出たら子どもの安全は保護者の責任で」とお願いしているところですが、いつかは三方で工事があつたため、現在、登下校時の配置職員を増やしています。トランシーバーで連絡を取り合いながら、不審者対応等不測の事態にも備えています。これまで横断歩道で子どもたちを誘導中の職員が軽車両に接触されヒヤッとしたことはありましたが、幸い子どもたちが事故に遭うことはありませんでした。今後も子どもたちの安全を守るため、工事関係者との折衝だけでなく、延び延びになっている横断歩道ライン塗り直しについても、公安へ粘り強く要望してまいります。また、減速帯（スピードバンプ）の設置など、学校だけでできることには速やかに取り組んでいこうと考えています。

しかし、肝心なのは子どもたちの安全意識を高めることです。友だちと話しながら道路を渡ったり、歩道で競争したりする児童生徒がときおり見受けられます。ご家庭でもご注意いただければ幸いです。

蛇足ですが、唯一工事のなかった麗都飯店側でもいよいよ旧ホテルの再建工事が始まりました。他の工事現場と並行して、子どもたちの安全を守るため交渉を進めていこうと思います。

結びに日頃より適切なお助言と迅速なお対応をいただいている通学安全委員の皆様へ感謝申し上げますとともに、今後も子どもたちが安全に通学できるようご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



修学旅行を終えて

小学部 6年

10月28日(水)～30日(金)に6年生は西安へ修学旅行に行きました。修学旅行1日目。まず訪れたのは明代城壁。1周なんと14kmもある城壁を、サイクリングしながら中国の歴史に触れました。次の回民街(イスラム通り)でのお買い物では、お店の人と交渉しながら楽しい買い物をしました。2日目は兵馬俑の見学。2200年前に作られた兵馬俑の数とその大きさに圧倒されました。さらにミニチュア兵馬俑作りを行い、歴史を感じながら体験することができました。そして最終日。シルクロードの出発地点となった西安の遺跡や貿易で取引された品物を実際に見ることができ、学習を深めることができました。

この3日間、一人ひとりがクラスや班のことを考えながら行動したことで、一回りも二回りも成長したように感じます。これから卒業まで残された日々を、さらに小学部最高学年としての誇りをもって行動できるよう見守っていきたいと思います。



宿泊学習 in 北京

小学部 5年

「共同宿泊 極める5年生～大人に一步近づこう～」をスローガンに、小学部5年生は北京郊外へ宿泊学習に行ってきました。

1日目 (10月22日)

北京松下普天通信設備有限公司では、携帯電話が完成するまでを見学させていただきました。携帯電話が出来上がっていく様子を見近で見ると圧倒的な迫力で、子どもたちは驚きの声を上げていました。居庸関長城では、班ごとに分かれてお互いに手を取り合いながら、急な階段を登りました。夕食前に餃子作りを体験しました。友だちと初めての宿泊では、ルールを守って安全に過ごすことができました。いっしょに泊まって、友だちとの友情も一層深まりました。

2日目 (10月23日)

北京少林武術学校にて、学校見学、武術ショーの鑑賞、武術体験をしました。

2日間の宿泊学習で、子どもたちは集団行動の大切さを学び、一回り大きくなって帰ってきました。この経験を今後の授業や行事で生かし、リーダー学年としてますます活躍してほしいと思います。



リーダー交代レクについて

特活部

中学部3年生が大きな役割の一つを終えました。毎年この時期、学校のリーダーが中学部3年生から中学部2年生へ交代します。生徒会も10月末に立ち上がり、新たな世代が北京日本人学校を引っばっていくのです。先月行われた「リーダー交代レク」は、中学部2年生や新しい生徒会役員が初めて新リーダーとしてレクの企画・運営に挑戦しました。自覚をもってしっかりとリーダーシップを発揮している生徒もいれば、なかなか思うように班をまとめられなかった生徒もいましたが、それぞれが自分なりに一生懸命でした。すばらしかったのは、中学部1年生や小学部高学年の児童・生徒の中に、中2を支えるべく率先して行動できる人がたくさんいたことです。レクの企画・運営にあたった生徒会は、役割の大変さを実感したことでしょう。この経験で学んだことが今後の活動に活かされ、それぞれが良いリーダーをめざしてほしいと思います。



ただいま 何人?

小学部 平成27年11月30日現在

	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	11	10	21	4-1	11	13	24
1-2	12	9	21	4-2	10	14	24
1-3	12	9	21	5-1	13	12	25
2-1	12	15	27	5-2	14	13	27
2-2	12	15	27	6-1	9	10	19
3-1	15	13	28	6-2	9	10	19
3-2	15	12	27	小総計	155	155	310

鬼怒川水害義援金募金について 児童生徒会

常総市鬼怒川水害義援金募金活動にご協力いただきありがとうございます。集まった義援金76,494円(日本円)は、常総市鬼怒川水害義援金担当窓口に寄付させていただきましたのでご報告申し上げます。

中学部

1-1	12	9	21	3-1	8	6	14
1-2	13	8	21	3-2	8	5	13
2-1	6	9	15	中総計	53	46	99
2-2	6	9	15	総合計	208	201	409